

市民の健康意識向上へ中外製薬と連携協定を締結

製薬大手の中外製薬株式会社(本社:東京都中央区)と市はきょう17日、市民の健康づくりなどに連携して取り組む「森林(もり)まち宍粟包括連携協定」を締結します。同社が提供する健康に関するパンフレットや動画を健康教室で活用するなど市民の健康意識を高めるとともに、健康づくりを通じてまちの魅力を高め、だれもが元気に住み続けることができるまちの実現をめざします。

協定の概要

締結日 令和5年3月17日

締結者

- ・中外製薬株式会社 カスタマーソリューション部長 嶋内隆人
- 宍粟市長 福元晶三

概 要 連携・協力事項

- (1) 健康づくりに関すること
- (2) 生活習慣病の予防に関すること
- (3) がん対策に関すること
- (4) 市が取り組む健康増進事業の情報発信に関すること
- (5) その他の健康増進に関する施策の実施に必要な事項に関すること

| 参考資料 | 報道発表資料、森林まち宍粟包括連携協定書 | | |
|------|----------------------|----------|------------------|
| 問合せ先 | 所属 秘書政策課 | 担当 木村 智行 | Tel 0790-63-3139 |

兵庫県宍粟市



兵庫県宍粟市と中外製薬が、 市民の健康増進に向けた包括連携協定を締結

兵庫県宍粟市(市長:福元晶三、以下「宍粟市」)は、中外製薬株式会社(本社:東京都中央区、代表:奥田修、以下「中外製薬」)と「森林(もり)まち宍粟包括連携協定」を締結します。

本協定は、中外製薬が所有する知見やリソース、ソリューション等を活用し、宍粟市の健康づくりに関わる取り組みを推進するとともに、健康志向の機運を高め、「住んでみたい、住み続けたいまち」の実現に貢献することを目的に締結します。

1.取り組みの背景

宍粟市は兵庫県中西部に位置し、広大なエリアの約 9 割を森林が占め、「しそう森林王国」と呼ばれる豊かな自然にあふれています。また、『播磨国風土記』の一節により、日本酒発祥の地とも言われ、"発酵のふるさと" として自然の恵みを受け継ぎ、育んできました。

しかし日本全国で人口減少・少子高齢化が深刻化する中で、宍粟市も例に漏れず、人口 流出と過疎化の抑制に課題を抱えており、安心して暮らし、働き、子どもを産み育てられ、 いつまでも元気に過ごせるまちづくりが求められています。

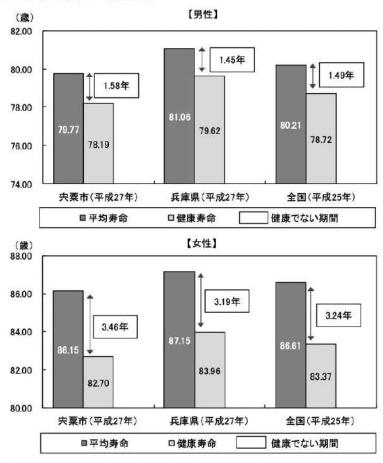
一方、中外製薬は、国内シェア No.1 を誇る「がん」領域の医薬品をはじめ、有効な治療法の確立していない病気の新薬を開発し、十分に満たされていない医療ニーズ(アンメットメディカルニーズ)の充足に取り組んでいます。近年は、2025 年にかけて団塊世代が後期高齢者に移行することで医療財政の逼迫が進むといった見通しや、医療の地域間格差の拡大を受けて、予防医療の拡充やソリューション提供を通した地域医療への貢献にも積極的に取り組んでいます。

このような背景から、宍粟市と中外製薬は相互に連携し、健康づくりに関わる取り組みを推進し、市民の健康的な生活の実現を図るとともに、ライフステージ等に応じた健康志向の機運を高め「住んでみたい、住み続けたいまち」の実現をめざすことにより関係人口の増加に寄与することを目的に、「森林(もり)まち宍粟包括連携協定 」を締結することになりました。

2. 健康増進分野における市の現況

少子高齢化が深刻化する中で、宍粟市の健康寿命は男女ともに国・県よりも低く、男性の健康寿命は 78.19 歳、女性の健康寿命は 82.70 歳で、健康でない期間が長くなっています。

■男女別にみる平均寿命・健康寿命



注 全国の健康寿命は県の算出方法に合わせ、「日常生活動作が自立している期間の平均」を採用しています。 また、四捨五入の関係により、「平均寿命から健康寿命を引いた数値」と「健康でない期間」が一致しない 場合があります。

資料:全国の平均寿命は簡易生命表、

健康寿命は厚生労働省科学研究費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)分担報告書 兵庫県、宍栗市は兵庫県保健統計年報

こうした背景のもと、市は 2019 (平成 31) 年度に「健康しそう 21 (第 3 次) 及び第 2 次宍粟市食育推進計画」を策定し、市民の健康意識や各種健診受診率の向上に向けた取り組みを進めていますが、特定健診の受診の伸び悩みや、青年期・成人期の健康無関心層への働きかけの難しさなどが課題となっており、早期発見、早期治療につなげ、健康寿命の延伸を図るためにも定期的な特定健診やがん検診の普及・啓発が求められています。

3. 取り組み内容

中外製薬が有する知見やソリューションを活かして、市民の健康増進に向けた取り組みを行なってまいります。具体的には、既存アセット(パンフレット等)を活用した健康教室・健康相談等の支援、生活習慣病の予防に向けた動画資材の提供、がん検診及び特定健診の受診勧奨の支援など市民の健康づくりを促進し、誰もが安心・安全に暮らすことができるまちづくりに貢献していきます。



協定による価値創造イメージ

○ 森林(もり)まち宍粟包括連携協定とは

宍粟市では、令和4年度より都市部企業との連携強化を図っており、以下の2つの目的で包括連携協定「森林(もり)まち宍粟包括連携協定」を締結し、関係人口の増加をめざしています。

①企業課題解決型:森林セラピーをはじめ、発酵文化、アウトドアアクティビティなど、 市の地域資源を組み合わせたプログラムやコンテンツを生かし、企業が抱える課題解決や、 社員研修・福利厚生・SDGs 活動等で継続的に地域を活用いただくこと

②地域課題解決型:企業が有するソリューションや技術、ノウハウを活用し、多様な分野で宍粟市が抱える課題解決に向けて協働して取り組むこと

以上

- 本件に関するお問い合わせ先 - 宍粟市 秘書政策課(担当:西川、木村)

〒671-2574 兵庫県宍栗市山崎町中広瀬 133 番地 6 TEL:0790-63-3139 FAX:0790-63-3060 E-mail:hishoseisaku-ka@city.shiso.lg.jp





100 DIVE は、ビジネスセクターの多様な人材がチームとなって社会課題の解決に取り組むプログラムを運営している一般社団法人ALIVEと、「ふるさとの夢をかたちに」をミッションとしている伴走型コンサルティング会社さとゆめのコラボレーションプロジェクトです。 10年かけ、100のローカルビジネスを実際に世に送り出すことを目指し、地域の新たな可能性を社会に発信していきます。



100DIVE誕生の背景

10年前なら「田舎には仕事がない」とよく言われていましたが、今では「仕事はあるけど、人がいない」という状況があらゆる地域で起きています。 まさに、「人」がボトルネックになっているのです。そうした状況を踏まえ、①計画を立てて、②資金を集めて事業を立ち上げ、③最後に人材を集め る、という"計画起点"だったこれまでの事業化のプロセスを見直し、これからは、①想いやビジョンを持った人材を発掘・育成し、②その人とともに、 計画をつくり資金を集め、③その人とともに事業を立ち上げ・運営していくという、"人起点"へと転換することにしました。そのサイクルを完成させ るための新たな試みの一つが「100DIVE」です。

これまでの地方創生事業















これからの地方創生事業



人材がボトルネックになり、事業が動かない

意志ある人を起点に、事業を設計していく

960900

3カ月のスタートアッププログラム・

約3カ月の期間で全5回のセッションを実施。「チームビルディング⇒フィールドワーク⇒最終提案⇒振り返り」までを行います。 このスタートアッププログラムを通じ、チームや地域との対話を重ねながら、創りたい未来や事業アイデアを磨き込みます。

SESSION 1

チームスタート! (顔合わせ&テーマ理解)



目的やスタンス合わせ、進め方などをチーム内で 相談して決定していきます。

SESSION 2

課題の深堀り・提案の方向性決定 (情報収集と考察、フィールドワーク)



現地に入ってフィールドワークを行い、地域の方々 と直接話して方向性を改めて検討します。

SESSION 3

提案のまとめ&中間プレゼン



地域に向けて中間プレゼンを行います。最終プレ ゼンに向けてのリフレクションや事業計画磨き上 げの場となります。

SESSION 4

最終プレゼン



地域に向けて最終プレゼンを行います。 約3カ月かけてチーム内でまとめた、最終的な課 題解決の提案を伝える場となります。

SESSION 5

結果発表&振り返り



最終プレゼンで採択されたチームを発表!チーム 内で振り返りの時間も設けます。





100DIVEだからこそできること

採択チームを中心に、 推進体制構築



採択チームが中心となり、採択外チームのメンバーもスカウトしながら、推進体制を構築。 そのメンバーとさとゆめ・自治体で協議しながら、事業を動かしていきます。 プロトタイプづくりに 向けたサポート



事業計画に合わせたサービスやプロダクトの試行版リリースに向けてチームの相談に乗りながら、計画倒れにならないようにサポート・助言を実施。必要に応じて、地域側とチームの調整なども行います。

事業立ち上げ資金・予算 サポート



自治体内での予算化や各種補助金など、事業化に向けて活用できる財源について助言を実施。採択チームが極端な金銭的リスクを負わずにスタートできるようにすることで、実現ハードルを下げていきます。

3カ月のプログラム終了後

最終提案で各地域に採択されたチームがアイデアを形にし、事業化に向けて自走できる状態を目指し、さとゆめがサポートを実施します。

<mark>1□□</mark> DIVE がカバーしていく フェーズ



プログラム期間中

3カ月間のスタートアッププログラム(事業の企画・検討)



プログラム期間終了後

プロトタイプの市場リリース&事業の立ち上げ準備

状況に応じた相談 フォローアップ



プログラム期間終了後

市場の反応を確かめながらチームで自走し事業立ち上げ ※第1期終了後も5チーム(20~30人)が事業立ち上げに奔走しています!

ご参加いただいたメンバーの声

茨城県大子町: A.Fさん(東京都在住)

日々の生活から離れたところで年齢や経歴といった土台が異なる人たちと出会い、同じ目標を持って交流できる機会はなかなか無いので、 100DIVEに参加したことは非常に刺激的で魅力的な時間でした。

また、プログラムを通じて、表面上からは見えない大子町の魅力や課題にも気づくことができたので、今後は一層深く大子町と関わる時間を持ち、出会った仲間とともに地域のために力になれる人材になりたいと思っています。





長野県信濃町: M.Eさん(東京都在住)

参加者がはじめに心得るプログラムの中で「地域に対して自分たちがやりたいことを押し付けるのではなく、地域の人、地域に関わる人、地域全体がどうしていきたいのかを考える」という事を学び、実際にプラン構築の際「本当に地域がやりたいこと・ありたい姿」を意識して進めていきました。新たに出会った仲間とともに、信濃町の地域資源を最大限に活かして社会を少しでも良い方向に持っていくため、今後も信濃町やそこに関わる人たちと関係を深く濃くしていきたいです。



自治体側で必要な5つの準備

3 カ月のプログラム実施前・実施中・実施後それぞれのフェーズで、100DIVE 事務局と共に地域側の調整などを中心に、協働いただくイメージです。



実施テーマの 検討

事務局と共にテーマと 目指したいゴールの設定。



地域側の 参加者募集

参加3チームそれぞれに、 地域から1名のメンバーを 派遣。所属などは自由。



参加者への 情報提供

まちや課題に対しての詳 細なインプットをセッショ ン内で実施。



現地視察 コーディネート

キーマンとのつなぎや、 取材先の選定などを実施。



評価/実現に 向けて

最終的に取り組みたいプ ランを選定し、実現に向け て協働。



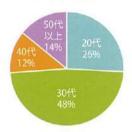
過去参加者属性

参加者は 100DIVE 側で SNS や地域への移住希望者向けコミュニティ等で公募します。

参加者居住地

その他 4% 関西圏 4%

参加者年齢層



過去参加者職種

宣伝 広報 営業 総務 企画職 エンジニア カメラマン デザイナー

など様々なバックグラウンドを持つ 方々が参加



越境型チームだからこそ、地域の内・外の 視点を併せ持った環境でプランを策定し、 課題解決の提案が行えます!



参加した自治体上長の声



長野県小海町 黒澤 弘 町長

オンラインを併用することで、コロナ禍でも参 加者とコミュニケーションを取りながら進めるこ とができました。この事業の成否は、現地でど れだけ多くの方と関わることができたかにある と考えているので、地域での交流活動がさらに 活発になれば、より良い事業になると思います。 課題に対しては、全員が小海町をより良くした いという思いを持って真剣に議論し、最終提案 を出してくれました。採択されたプロジェクトの 事業化に向けて、町全体で引き続きサポートし ていきます。



茨城県大子町 高梨 哲彦 町長

地域資源を活用した新たな人の流れを創出する ことを目的として、「古民家を活用したビジネス モデルを作る」をテーマに掲げました。参加者 も地域の皆さんも本テーマに真剣に取り組ま れ、双方にとって実施した意義はとても大きい と感じています。

採択されたチームは継続して活動しており、提 案に留まらずプランの実現に繋がることを期待し ています。

大子町もチームと共に、事業化に向けた取り組 みを続けていきたいと考えています。

100 DIVE

株式会社100DIVE

一般社団法人ALIVE(https://www.alive0309.org/)と株式会社さとゆめ(https://satoyume.com/)とのコラボレーション

設立: 2021年10月1日

代表者: 代表取締役 庄司弥寿彦·嶋田俊平

所在地:東京都豊島区南大塚 3-36-7 南大塚 T&T ビル 6F

代表 TEL: 03-5275-5105



https://100dive.co.jp/



日本酒発祥の地 認知向上へ新ビジネス 酒樽サウナ「mu-su」登場

新たなローカルビジネスの創出をめざして昨年5月に市がスタートさせた「100D I V E」プロジェクトから生まれた新製品 酒樽サウナ「mu-su」のお披露目会が6月 17日に開かれます。mu-suは日本酒の酒だるの形をした宍栗市産ヒノキで造られる独立したサウナ室で、ヒノキの香り漂う室内の中央に配置された薪ストーブが囲炉裏端のような雰囲気を演出します。この新製品は、市内外から集まった同プロジェクトのメンバー3人が「日本酒発祥の地」を生かした事業として企画し、昨年10月には事業を運営する株式会社 宍栗印を設立。この3月に第1号となるmu-suの注文を受け約2か月で納品しました。キャンプ場や宿泊施設などを主なターゲットに受注生産で販売するほかレンタル事業も計画されています。地域資源を活用した新たなブランド事業として地域の雇用や市の知名度向上につながることが期待されます。

概要

製造者

名 称 株式会社 宍粟印

設 立 令和4年10月

所 在 宍粟市一宮町東河内 98 番地 2

サイト https://shiso-jirushi.com

問合せ先 小久保 智之 1 080-3405-3210

お披露目会

日 時 6月17日(土)11時~12時

場 所 宍粟市一宮町東河内

(地図 https://maps.app.goo.gl/kZBxHKWoGqZC6RKv5?g_st=im)

その他 取材いただける場合は、現地に直接お越しください。

参考資料 株式会社 宍粟印ウェブサイトの写し

問合せ先 | 宍粟市秘書政策課 | 担当 木村 智行 | Tm 0790-63-3139

兵庫県宍粟市



トップページ

宍粟印の目指すもの000

活動報告

製品のご紹介

企業情報

NIII . A 4- 14

♠ > 製品・サービス > 酒樽サウナ〈mu-su〉

酒樽サウナ〈mu-su〉

2023.05.28



日本酒発祥の地 宍粟市から生まれた日本のサウナ

厳選した宍粟市産ヒノキを使用した躯体。

どっしりした酒樽の外観には本物の木桶職人が作る箍(タガ)が締められています。

天井、壁、床は断熱性にこだわった二重構造。

内部は六角形の座面となっており、ストーブを囲んで座る設計。

足元をLEDライトが幻想的に照らします。

サウナストーンを纏った〈HUUM〉のストープはロウリュを満喫できる仕様です。

〈酒樽サウナmu-su〉は職人の手によって生まれた日本のサウナです。



おすすめ記事





〈酒樽サウナプロ ジェクト〉musu、完成

〈酒樽サウナプロ ジェクト〉ストー ブ、屋根、建...

最新記事



〈酒樽サウナプロジェク ト〉**mu-su**、完成 2023.05.18



〈酒樽サウナプロジェクト〉ストーブ、屋根、建 具の施工 2023.05.02



〈酒樽サウナプロジェクト〉 タガが取り付けられました









いいね! シェアする 0



兵庫県宍粟市一宮町東河内

f @

2022年10月に創業いたしました。当サイトのコンテンツはまだ未完成な箇所もございます。ご質問等ございましたらお問い合わせフォームよりお願いいたします。

ご相談・ご質問はこちらへ

お問い合わせフォーム

Copyright © 株式会社 宍粟印 | shiso jirushi All Rights Reserved.